

おかもと陽子通信

2017年4月 第17号



(3月議会)

—KOMETO—
公明党

守りたい! あなたのいのち、生活を!!

発行) 宗像市議会議員 岡本陽子

自宅 福岡県宗像市自由ヶ丘 7-6-1

TEL/FAX (0940) 25-5344

ホームページ <http://www.okamoto-youko.jp/>

メール taiyoudaisukinayoko@gmail.com



ご意見・ご要望はホームページからも投稿できます。

何でもお気軽にご相談ください。



平成 29 年度予算が決まりました。

宗像市の当初予算総額は、昨年より 3 3 億 1,502 万円増 (+5.6%)

約 623 億 4,204 万円

社会保障経費は年々増えています。



注目

どうなった? 市が、サニックス振興財団へ 5 億円を無利子で貸し付け??

議会認めず!! 市税は誰のために!! 市民への周知は!!



サニックス振興財団への 5 億円貸付事業費を予備費に組み替える修正案が可決

3 月議会最大の議論となった、市税 5 億円を民間会社に無利子で貸し付け(償還期間は 20~25 年)。その経緯と議会での結論は。

1. 何のために?

財団は市内のグローバルアリーナに新たな宿泊施設の建設を計画、3 階建てで約 40 室を予定しており総事業費は 10 億円。市は半分の 5 億円を無利子で貸し付けることにし、新年度予算に盛り込んだ。

2. 予算第1委員会での議論は?

公明党(石松市議)は、市が無利子で5億円を貸し付けるとした貸付事業費の全額を予備費に組み替える修正動議を出し、賛成多数で可決。

賛成:公明党含む6 反対:2 棄権:1

3. 最終本会議においては

サニックス振興財団がスポーツ振興や青少年育成の面で貢献し、公益性があることは認めるが、市の最高執行機関である庁議での話し合いが成されず一部の話し合いで決定されている事、市民への周知が成されていないことなどの理由から修正案可決、修正案以外のその他一般会計は可決となった。

賛成:公明党含む10 反対:8 棄権:1

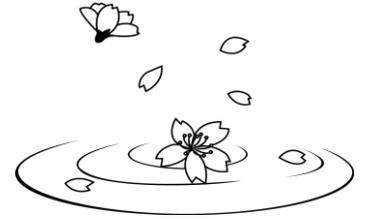


その他一般会計、特別会計に関する議論から



その他一般会計:(評価できる市の取り組み)

市の取り組みの中でも評価できるものもあります。例えば、**賃貸住宅家賃補助金** (本制度利用した居住者数3,855人、本制度を利用した転入者数2,921人) **中古住宅購入・新築解体補助金** (本制度利用の居住者数1,653人、転入者数517人) **三世同居・近居支援補助金** (本制度を利用した居住者数70人、転入者数20人) **定住奨励金** (本制度利用した居住者数70人) は、本市定住を確実なものにしている。



その他一般会計:(課題があると感じる取り組み)

駅名変更に係る費用や効果を調査、研究する予算293万円、小中学校の普通教室(各1校)に空調機を設置、あわせて太陽光発電設備の整備を行う空調機・太陽光整備工事(小学校7,500万円、中学校6,400万円)などは、まだ市民ニーズ、現場の声を十分聴いていない状況であるため、課題として一方的な政策に陥らないようすることが必要だと考える。



特別会計:国民健康保険税に関して、介護納付金について税額の引き上げを行う。理由としては、国保税加入者のうち第2号被保険者(40才~64才)が828人減ることによって介護納付金不足1,200万円が生じ、その額を第2号被保険者で補うため。



公明党の取り組み

代表質問

会派を代表する議員が、市政の現状や今後の計画について、市長その他の執行機関から報告や説明を求める代表質問

3月の代表質問のダイジェストを紹介

公明党代表:石松 和敏

サニックススポーツ振興財団

貸付事業費の可否について

これまで前例がない市の民間会社への貸付事業は、原資が市税であり、財団の財務内容に不安がある。市民への周知も成されていないことから、その経緯、理由について質問。公益性があるとの理由だけで5億円の市税投入は拙速であり、十分な議論が必要だと指摘した。

一般質問

1 項目目

・子ども・若者支援センターの充実を

2 項目目

・病児保育施設の整備を

**公明党
岡本 陽子**

妊娠から18歳まで一人の子どもの支援をワンストップでできる子ども・若者支援センターの支援体制の整備の進捗状況、課題について質問
病児保育に関しては、働く母親が増える中、子どもが病気になった時に預ける場所の確保が重要であること
市内小児科との連携が必要であることについて市の答弁を求めた。

出会い

語らい

すべての人に開かれたホスピスの整備を求めて活動を続けている市内葉山在住のK氏とともに公明党秋野公造参議院議員を訪問。ホスピスがエイズ患者やがん患者を対象とし、終末期の場所だと捉えられる日本と、ホスピスを神経疾患や認知症患者の一部が利用できる諸外国。その差、考え方の違いを知った。K氏自ら障害を抱えながらもすべての人に開かれたホスピスの整備求めて集めた署名1万,7580件。本気で何かを成し遂げるためには、「相手を思う気持ち。」が大切であると学んだ。